

# 第44回神奈川産婦人科内視鏡研究会

## 抄録集



**【演題 2】**

2年間で交互に繰り返し発症した卵管角妊娠の一症例

**【所属】**

横浜総合病院 産婦人科

**【演者】**

菊部 瑞穂

**【共同演者】**

木林潤一郎、吉岡伸人、美濃部奈美子、  
こまぎわレディースクリニック 柴田哲生、潤レディースクリニック 渡邊潤一郎

**【抄録】**

症例は30歳女性、1経産婦。  
最終月経から起算して5週5日、HCG：4611.0mIU/ml、妊娠反応陽性だが子宮内にGSを認めず。経腔エコーにて右卵管の異所性妊娠の診断となり、同日、腹腔鏡手術を行った。腫瘍は右卵管角に存在していたため、腹腔鏡下右卵管角切除術を行った。縫合は2-OPDS IIを用いて3層縫合とした。術後経過は良好であり、終診となった。  
その一年後に、妊娠反応陽性にて受診。最終月経から起算して6週6日、HCG：4443.0mIU/ml、妊娠反応陽性だが子宮内にGSを認めず。経腔エコーにて前回手術部位の対側となる左付属器に腫瘍を認め、腹腔鏡手術の方針となった。腫瘍は左卵管角に存在しており、前回同様に左側の卵管角切除を行い、2層縫合を行った。術後経過は良好である。  
異所性妊娠は全妊娠の1-2%といわれ、その中で卵管角妊娠をきたす確率は1-2%と稀であり、本症例のように左右の卵管角妊娠を発症する確率はさらに少ないと考えられる。極めて珍しい症例を経験したので若干の考察を加えて動画を供覧し、報告する。

Mem o

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

